



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和6年度学校だより
No.10 1月号
令和7年1月6日(月)

燦々照今 よりよき今をともに創らん

令和七年 巳年へ!!

新しい年、令和七年の幕開けです。みなさん、今年もよろしくお祈りします。

約ひと月前の12月初旬は、日中はかなり暖かい日が続いていました。その当ても朝は肌寒く感じられるところもありましたが、2名の1年生男子は半袖での登校を続けていました。「寒くないですか」の問いかけにも「大丈夫」と平然とした態度での返事がかえってきていました。その後二人は果たしてどうしたのでしょうか……。

さて、話は変わりますが、令和六年度も残り少なくなってきました。1・2年生については約50日あまり、3年生にあっては、今日を含めて44日が残りの登校日となりました。今の学級で仲間とともに過ごす時間が限られてきたことを肌で感じる時期の到来です。そこに焦点をあてすぎると、もの哀しく感じるところも出てきてしまうかもしれませんが、とにかく、中学生という時間に佐野中という空間で出逢った人間(じんかん)とともに、今やるべきことに力を注いで毎日の学校生活を楽しむとともに、自分自身を耕して、自己を高め続けてもらえればと思っています。

さあ、佐野中のみなさん、新年が始まったことをあらためて自覚してください。この日この時に心機一転、襟を正して年の初めに新たな目標を胸に抱き、それを言霊にして行動にうつし、さらに飛躍できる一年にしましょう。

年頭にあたり、みなさんのさらなる進歩・成長を祈念します。



12月5日(木)
ひたちなか市文化会館での
和楽器コンサートにて

新年の表紙を飾る写真が旧年中のものになってしまうのは、いささか気になります。また、普段はできるだけ生徒の写真に掲載することを心がけてはいますが、今回はこの写真を掲載しました。

令和6年(度)の前半の佐野中は、まさに「音三昧」と言っているほど、様々な音楽に触れる機会に恵まれました。吹奏楽部と合唱部のコンクールに向けての壮行会、クラシックコンサート、碧和祭-合唱コンクール、市誕生30周年記念事業、和楽器コンサートに、そして佐和駅でのイルミネーション点灯式における合唱部と吹奏楽部による合唱の披露などでした。書き漏れがないかどうか心配になるくらい盛りだくさんでした。表紙の写真はここと同じような場面がかなり多くなりましたが、今回もステージ上の写真ということでは一致しています。それにしても先生たちが桶太鼓を叩こうと構えた姿、一瞬をとらえたものですが、それぞれに個性があって実にいいなと思い、この写真を採用することにしました。普段、とても身近な先生たちの登壇は、生徒たちにとって、まさに“Hero & Heroin”で、大いに盛り上がった思い出の一日となりました。

気がつけば、瞬く間に年が明けました。辰年から巳年へと変わるこの冬休み、12日間ではありましたが、みなさん一人ひとりの「自分」にとっては、どんな時間とすることができたでしょうか。

本当に間もなく受験の波が押し寄せる3年生にしぼって話をすると、学習に費やした時間が多かったのかもしれませんが、しかしながら、果たして十日とちょっと勉強したからといって力がつくのか、本当に学力が上がるのかと不安な気持ちに駆られても不思議ではありません。でも、だからといって、もし、机に向かわなかったら果たしてどうなってしまうのでしょうか。先のことを考えるばかりに、気になることがあると、それが心の中をどの程度占めてしまうのかは人それぞれですが、少なくとも佐野中の3年生233名は同じ立場にたっています。受験が気がかりで仕方がないという人は、自分だけではありません。そんなことを自分に言い聞かせながら、また、それでも心配なときには人に話を聞いてもらうなど何か別のことを考えて、気を紛らわせてみてください。

そんな3年生ですが、佐野中では初日から全年間とも授業を行いました。1校時は学活、2・3校時は時間割通りの授業です。3年生の一部は体育、そのまた一部は選択でのダンスの授業、しかも発表です。冬休みが明けて間もないというのに、楽しそうに、しかもビシッと踊っていました。この休みに学習の合間をぬって動画などを見ながら練習をしてきたことが分かりました。とてもよい気分転換になっていたのではないのでしょうか。頭だけを使うよりも身体を動かした方がモチベーションも上がるそうです。主と従が逆転しないように心がけながら、これからの時間も有効に使って自己を高め続けてください。3年生にとっての中学校生活は、あと少しです。

(裏面に、関連記事があります。)



智仁武勇



生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時と空 人の間を 燦々と 照らし続けて 輝かす今



茨城県内各地よりトヨタグループの様々な会社の方々にお集まりいただき、「茨城ワクドキクラブ」と題されたクルマ教室が開催されました。講師の数は約 50 人で、第一学年に向けて「働くこと」についての講義や実習を行いました。

生徒は、スポーツカーや電気自動車・水素自動車への体験乗車、C-Walk、e スポーツなど多くのことを体験するだけでなく、社員の方々より社会人としての心構えなどについても話を聞くことができました。おかげさまで普段の学校生活では学ぶことのできない貴重な 2 時間となりました。

県内に約 220 校の中学校がある中で、今年は全部で 11 校がこの機会に恵まれたとのことでした。年度内最後の授業が佐野中だったとのこと、本当にありがたいことです。今回の御縁に感謝します。



2年生は、12月11日(水)に龍ヶ崎済生会病院の陳 央仁(ちん おうじん)先生をお招きして生教育講演会を行いました。「自分(いのち)を大切に生きていくために～君は愛されるため生まれた～」と題された講演会は、陳先生の幼少期からのお話や生命の誕生は総理大臣になるより難しいということ、性のあるべき姿、性感染症の恐ろしさなどについてお話していただきました。生徒はメモを取りながら、真剣に話に聞き入っていました。この講演会は、教養委員の保護者の皆さんや、参加を希望された保護者の皆さんにも参加していただきました。第2部は保護者の皆さん向けの講演会が開かれました。陳先生のお話に涙している保護者の方や教職員もおり、生きること、命を育むことの大切さを実感する講演会になりました。

講演会は、陳先生の幼少期からのお話や生命の誕生は総理大臣になるより難しいということ、性のあるべき姿、性感染症の恐ろしさなどについてお話していただきました。生徒はメモを取りながら、真剣に話に聞き入っていました。この講演会は、教養委員の保護者の皆さんや、参加を希望された保護者の皆さんにも参加していただきました。第2部は保護者の皆さん向けの講演会が開かれました。陳先生のお話に涙している保護者の方や教職員もおり、生きること、命を育むことの大切さを実感する講演会になりました。

佐野中体育の授業 表現 ダンスから

現在、体育の授業では、ダンスの授業を体育館で実施しています。1年生は動物や自然の風景描写や人間の感情を即興的に表現する創作ダンスに取り組んでいます。2年生・3年生は、文化祭でも発表したヒップホップやブレイキンなど自分の踊りたいダンスを選び、一緒に踊り、仲間で踊りを深め、さらに発表して楽しんでいます。また、ビデオで自分たちの発表を振り返るなどしてダンスの授業に取り組んでいます。テーマは「学びに向かって一人ひとり挑戦する。」ですが、これを大切に、助け合ったり教え合ったりしながら楽しく学習しています。1月初旬には、本校のステージで3年生の発表会があります。



3年生 選択ダンス ブレイキン

1年生 表現 サバンナのライオン



3年生 選択ダンス 鏡とパソコンを使って



3年生 選択ダンス 構成を工夫して創り上げる

